

## 7 月 10 日 : VN 指数は反落 (VN-Index -0.60%)

- VN 指数は上昇して開始し、前場では前日終値付近を支持線として数度反発しながら推移していく展開となった。
- 中小型株が大型株の下落を打ち消す形で上昇したため、VN 指数と VN30 指数の値動きはそれぞれ乖離していった。
- 前場では好調な推移だったものの、心理的な抵抗線として意識されている 1300 ポイントに接近していたため、売り圧力が次第に優勢となって下落した。
- 石油ガス、自動車・部品セクターのみが上昇を記録したが、下落セクターは情報技術、小売、化学セクターをはじめとして多岐にわたった。
- 151 銘柄が上昇、299 銘柄が下落、65 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日とほぼ同等の 21.8 兆ドンであった。

## VN30 指数は市場全体の重しとなる (VN-30 -0.82%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、6 銘柄が上昇し、23 銘柄が下落、1 銘柄が変わらずであった。
- GVR (-2.63%) が最も下落し、それに続いて FPT (-2.55%)、MWG (-2.40%)などが下落した。
- PLX (+1.20%) が唯一 1%を超える上昇を記録した。

## セクター・個別株の動き

- HHV (+0.00%)が 2024 年上半期の業績予想を発表した。同社はこの期間の売上が 1.47 兆ドン（前年同期比+28%）、税引き後利益が 2110 億ドン（同+15%）となると予想している。
- ホーチミン証券取引所は ITA (-4.67%) が期限内に 2023 年の監査済み財務諸表を提出しなかったため、今月 16 日から午後のみ取引とすることを明らかにした。

- 外国人投資家は 1.04 兆ドルの売り越し。MBB (+0.65%) は 1000 億ドルを超える買い越しを記録した一方で、最も売り越された FPT (-1.50%) に MWG (-2.40%) などが続いた。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。